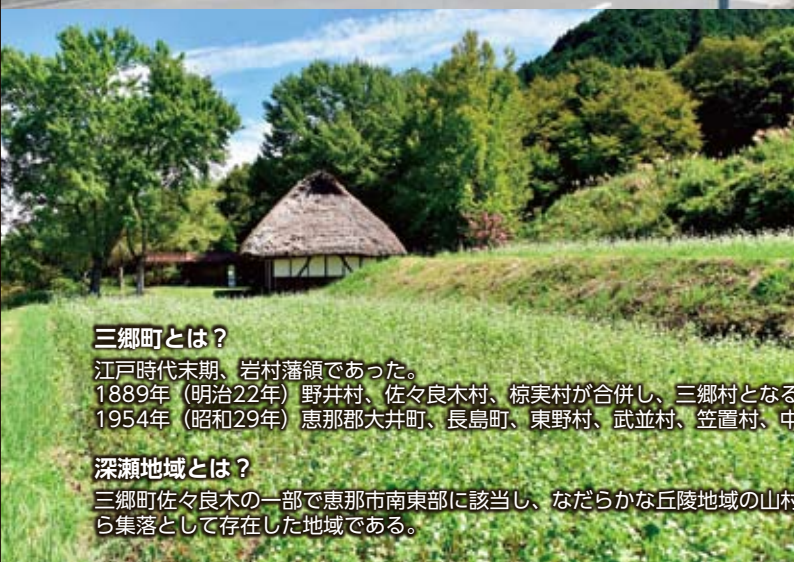




ええのお

第15号



三郷町とは？

江戸時代末期、岩村藩領であった。
1889年（明治22年）野井村、佐々良木村、棕実村が合併し、三郷村となる。
1954年（昭和29年）恵那郡大井町、長島町、東野村、武並村、笠置村、中野方村、飯地村と合併して恵那市と命名し、三郷村から三郷町となる。

深瀬地域とは？

三郷町佐々良木の一部で恵那市南東部に該当し、なだらかな丘陵地域の山村であり、深瀬の名前は1832年（天保3年）の地図に地名があり江戸時代から集落として存在した地域である。

深瀬宮農組合

代表 小林 敏博

深瀬宮農組合は、道の駅らっせい三郷の北に位置し、農地は標高322m～460m（標高差120m）の傾斜のある中山間地集落です。

組合の創立は、昭和59年に「生産性の高い農業構造の確立を図る」を目的として立ち上げ、現在も当時と変わらない意思を継承し、約50haの農地管理を53名の組合員で活動を行っています。

当地区の特色として、昭和41年より水稻種子生産地の指定を受けており、作付け水田の約7割に当たる24haで種子生産を行っています。

農業用水は、昭和40年代に整備された、深瀬用水及び中部用水があり、安定した水源を有し水稻生産を行っています。

組合活動は、中山間地直接支払い制度を活用し、平成19年度より大型共同機械整備を進め、田植機3台・コンバイン3台・トラクタ12台等により作業受託体制を整えてきました。また、農薬散布についてドローンを活用した共同防除にも取り組み、基幹作業を共同化することでコストの削減及び農家の作業軽減を図っています。

その他、組織内のオペレータにより、小学生の農業体験指導や耕作放棄の恐れのある農地についてソバや牧草の作付けを行い、農地の保全に努めています。

耕作者の高齢化・後継者不足・鳥獣被害等により農地管理に苦勞しており、今後、意欲ある後継者の育成が課題となっています。

員が代わりました

任期：令和7年11月14日～令和10年11月13日

推進委員地区担当表

農地利用最適化推進委員



まきの ひろとし
牧野 博利



ふじかわ かつお
藤川 寿男



あち は かつひこ
阿知波勝彦



みやけ たかよし
三宅 孝欣



もりい しげみ
森井 繁美



いとう ゆきひこ
伊藤 幸彦



いちかわ なおし
市川 直



つだ よしあき
津田 吉章



はやし よしはる
林 吉晴



すみ のりゆき
鷺見 典幸



わたなべ まさき
渡邊 正喜



すぎうら えいじ
杉浦 栄治



こばやし ひろあき
小林 裕明



いとう ひろみち
伊藤 弘通



おおしま はるみ
大島 春美



あんどう としひろ
安藤 利寛



ささき ひろし
佐々木 博



いとう よしひろ
伊藤 善啓



あさい しょうこう
浅井 章宏



さくらい たくお
櫻井 卓男



にしお くにひこ
西尾 邦彦



あんどう ひでみ
安藤 秀美



大井町・長島町・東野

地区	役職	氏名	住所	担当地区
第1地区	□	鈴木 啓介 (農)	大井町	JR 中央線北側 (正)
		瀬 美由紀 (農)		JR 中央線南側 (正)
		武生 雅美 (農)		JR 中央線南側 (副)
		牧野 博利 (推)		JR 中央線北側 (副)
	■	可知 幸男 (農)	長島町	正家・中野
		藤川 寿男 (推)		永田・鍋山
		阿知波勝彦 (推)		久須見
		三宅 一彰 (農)		市道袖畑笠作線西側
	三宅 孝欣 (推)	東野	市道袖畑笠作線東側	

三郷町・武並町

地区	役職	氏名	住所	担当地区
第2地区	■	村瀬 耕平 (農)	三郷町	野井 (大沢・東・中切・西)
		小林 初世 (農)		佐々良木・椋実 (副)
		森井 繁美 (推)		野井 (宮の前)
	□	伊藤 幸彦 (推)	武並町	佐々良木・椋実 (正)
		渡邊 春正 (農)		藤 (正)
		市川 直 (推)		藤 (副)
		津田 吉章 (推)		竹折

笠置町・中野方町・飯地町

地区	役職	氏名	住所	担当地区
第3地区	■	遠藤 和 (農)	笠置町	河合・姫栗 (南・田沢)
		林 吉晴 (推)		毛呂窪・姫栗 (中切・切山・石山)
	□	柘植 豊生 (農)	中野方町	県道68号恵那白川線東側
		長谷川富美代 (農)		全域 (副)
	■	鷺見 典幸 (推)	飯地町	県道68号恵那白川線西側
		瀬 眞一郎 (農)		全域 (正)
		渡邊 正喜 (推)		全域 (副)

◎(会長) ○(職務代理) ■地区委員長 □副委員長
 ※(正)地区の責任者 (副)地区の補佐 許可申請書は(正)の担当者へ提出して下さい。

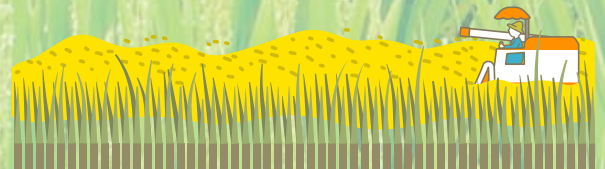
農業委員・推進委員

農業委員

農業委員と農地利用最適化推進委員の選任イメージ



農業委員



岩村町・上矢作町

地区	役職	氏名	住所	担当地区
第4地区	<input type="checkbox"/>	原 聡志 (農)	岩村町	富田 (副)
		杉浦 榮治 (推)		岩村
		小林 裕明 (推)		富田 (正)
		伊藤 弘通 (推)		飯羽間
	<input type="radio"/>	梅本 信枝 (農)	上矢作町	下地区 (副)
	<input checked="" type="checkbox"/>	近藤 明德 (農)		上地区 (副)
		大島 春美 (推)		下地区 (正)
	安藤 利寛 (推)		上地区 (正)	

山岡町・明智町・串原

地区	役職	氏名	住所	担当地区
第5地区	<input type="checkbox"/>	水野 守文 (農)	山岡町	馬場山田・久保原
		佐々木 博 (推)		釜屋・下手向
		伊藤 善啓 (推)		田沢・上手向
		浅井 章宏 (推)		原・田代
	<input checked="" type="checkbox"/>	保母 直彦 (農)	明智町	吉田 (大田・吉良見・大泉・阿妻)
		仲田 菜那 (農)		横通
		櫻井 卓男 (推)		静波 (東方・杉野・野志)
		西尾 邦彦 (推)		旧明知
	<input type="radio"/>	大島 政幸 (農)	串原	全域 (閑羅瀬・川ヶ渡・柿畑・木根・大平以外)
		安藤 秀美 (推)		閑羅瀬・川ヶ渡・柿畑・木根・大平

※◎(会長) ○(職務代理) ■地区委員長 □副委員長
 ※(正)地区の責任者 (副)地区の補佐 許可申請書は(正)の担当者へ提出して下さい。



会長挨拶

恵那市農業委員会 会長 大島 政幸

この度の農業委員会改選により農業委員19名、農地利用最適化推進委員22名が任命され、総会で会長に選任されました。農業委員・推進委員と共に市農業の発展のため精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、近年は先の見通せない不安定な世界情勢や資材費人件費等の高騰、人口減少、担い手不足・後継者不足と農業を取り巻く情勢は厳しい状況にあります。

このような状況の中、改正農業経営基盤強化促進法の施行により、「人・農地プラン」から「地域計画」となり、地域が目指す将来の農地利用の姿を明確にしています。地域計画をより良いものにするため地域の方々と再検討し実現に向けた見直しを進めながら、農地利用の最適化や担い手への農地集積を推進し、次の世代へ引継ぎ持続可能な農業を進めることが役割と考えています。

また、遊休農地発生防止の観点から農業委員会の役割である農地法に基づく移動の許可業務も重要と考えております。

多くの課題がありますが、市及び農業発展のため尽力してまいりますので、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任にあたっての挨拶といたします。

農業者年金推進部長からのお知らせ

ご存じですか？ 農業者年金



加入要件

- ① 20歳～60歳まで
 - ② 年間60日以上、農業に従事(農地の保有要件はありません)
 - ③ 国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者は除く)
- ▲この3つの要件を満たしている方は加入の対象となります。

さらに、年間60日以上農業従事する60歳～65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

保険料の額は、2万円～6万7千円の間で、自由に決められます。

一定の要件を満たす35歳未満の方は1万円から選択できます。

しかも、支払った保険料は全額、社会保険料控除の対象になり、所得税、住民税の節税につながります。

将来受給する年金の原資として積み立てていく積立方式(確定拠出型)の終身年金です。認定農業者等の農業の担い手には、国庫補助制度もあります。

是非、ご加入を検討してみてください。

私たち、農業者年金推進部長は、農業者年金を推進しています。気軽にお声かけください。



三宅一彰
【東野在住】



小林初世
【三郷町在住】



額額貴一郎
【飯地町在住】



原 聡志
【岩村町在住】



仲田菜那
【明智町在住】

お問い合わせ先 農業者年金推進部長、またはお住まいの地域の農業委員、恵那市農業委員会まで